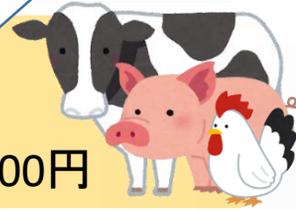




## 実際どれくらいなの？ 経営面で考える堆肥活用について

### ○化成肥料と堆肥のコストについて

農協など主要販売店の1袋(15kg)の堆肥価格(目安)  
牛糞...400~480円、豚糞...300~350円、鶏糞...200~400円



### 例 水稻栽培での10aあたりの肥料コストの比較

<ヒノヒカリの場合> ※N成分は暦を目安に窒素7kgになるよう設計

元肥(鶏糞堆肥(50%) + 化成肥料(50%)) + 追肥化成			価格合計
名称	散布量(kg)	参考価格	
(元肥)鶏糞堆肥	105kg	300円	7,400円
(元肥)化成14-14-14	20kg	2,780円	
(追肥)化肥16-0-16	15~20kg	2,520円	
化成肥料のみ			価格合計
名称	散布量(kg)	参考価格	
(元肥)化肥14-14-14	30~40	2,780円	8,080円
(追肥)化肥16-0-16	15~20	2,520円	
化成肥料のみ(一発)			価格合計
名称	散布量(kg)	参考価格	
苦土入エムコート477	45~50	4,370円	13,110円

実際は作業時間等異なるためコストは違います。今回は土壤改良資材を含んでいませんが、特に牛糞堆肥は土壤改良効果もあります。より良い栽培のためにぜひ堆肥の施用をしましょう！

### ○堆肥活用の注意点

- ・堆肥の種類によって肥料分や特性が異なります。年によって**肥効率(散布した年に発現する肥料分)がバラつきやすい**です。  
→施肥設計する際の施用上限(目安)牛:30%、豚,鶏:60%  
→施肥設計など不明な点があれば、下記連絡先からお問い合わせください。
- ・窒素飢餓の発生や雑草発生など栽培に影響が出る可能性があるため、必ず完熟堆肥を施用しましょう。

